

頭痛・歯の痛みに

第2類医薬品

# ピリン系解熱鎮痛薬

## セデス®・ハイ

シオノギヘルスケア

セデス・ハイは、鎮痛作用の強いイソプロピルアンチピリンをはじめ 4 種類の成分を配合することにより、強い痛みにもすぐれた鎮痛効果をあらわします。小型の服用しやすい錠剤で速く効きしかも効果が持続します。



使用上の注意 ……

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください（眠気などがあらわれることがあります）

4. 服用前後は飲酒しないでください

5. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 高齢者
- (4) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (5) 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身のだるい、食欲がないなどが持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢などがあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱などがみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

(裏面につづく)



